

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】  
 【会議名：糸魚川市博物館協議会 全体会】

<input checked="" type="checkbox"/> 開示
<input type="checkbox"/> 一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
<input type="checkbox"/> 不開示
<input type="checkbox"/> 時限不開示 (開示: 年 月 日)

## 会 議 録

作成日 令和6年7月18日

日	令和6年7月17日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	フォッサマグナミュージアム 研修室
件名	議題1 報告事項1~5 1 令和5年度博物館協議会について 2 入館者数等に関する事項について 3 ミュージアムショップの運営状況について 4 令和5年度博物館諸事業（運営部門）について 5 令和5年度博物館諸活動（学芸部門）について 議題2 協議事項 1 令和6年度博物館諸事業（運営部門）について 2 令和6年度博物館諸事業（学芸部門）について その他				
	出席者	【出席者】8人 専門部会 梶座委員 松岡委員 山縣委員 運営部会 中村委員 村井委員 川合委員 横澤委員 縄井委員（銀林委員代理） 【欠席者】2人 専門部会 大塚委員 運営部会 野本委員 【事務局】6人 竹之内館長 関澤館長補佐 茨木学芸員 小河原学芸員 香取学芸員 郡山学芸員			
		傍聴者定員	- 人	傍聴者数	- 人

### 会議要旨

1 開会
館長あいさつ
<p>令和6年4月から入館料の値上げをおこなった。今のところ入館者数への影響はないので安堵している。また、建物も建築後31年が経過している。現在、耐久年数を伸ばすために陸屋根部分の改修作業をおこなっている。</p> <p>コロナ過が明けて本来業務が戻ってきた。観光宣伝・地域づくりのアイデア出し、交流人口の創出など様々な要望が学芸員に来ている。期待されるのはいいが、忙殺されすぎないように。</p> <p>前回のリニューアルから9年が経つ。次のリニューアルを展望する時期が来ている。委員の皆様には中期、長期的なところを含めて意見をいただければと思っている。</p>
2 会長の選任
梶座委員に会長を依頼。承諾。

### 3 協議事項

#### (1) 報告事項

【事務局】令和5年度博物館事業について資料に基づき説明。

#### 質疑

【委員】学校教育の回数が増えている。要因は？

【事務局】4月に糸魚川市の校長会で博物館利用の声掛けをしている。例年使っていただける学校が増えているのではないかと。

【委員】リニューアルがない限り特別展は来館者数増加に非常に効果がある。目を引くような特別展を計画していただければと思う。

【委員】来館者数が若干減ったにも関わらず、入館料の収益が上がった理由は団体割引を止めたから？止めた理由は？

【事務局】その通り。割引の種類が多いとお金のやり取りが煩雑になる。JAF 割などが目的で来る人は少ない。利用件数が多いので経営的判断で取りやめた。

【委員】教育旅行、学芸員が対応するのとガイドが対応のすみわけは？

【事務局】博物館に問い合わせが来たものは基本学芸員が対応する。都合がつかないときは観光協会と連携してガイドを手配する。学校が観光協会に直接問い合わせをすることもある。

【委員】化石の谷、夏だと日影がない。パラソルの設置があればと希望を聞いたことがある。

【事務局】お盆のシーズンはテントを立てている。またミストシャワーを設置している。梅雨が空けたらテントの設置も検討している。熱射病対策はしていく。

【委員】資料の訂正依頼。P29 他機関との連携1「みんなの石展」をおこなった。また、本事業は後援をいただいた。ほかにも後援事業は多岐にわたると思う。組織としてどのような事業に後援したのかわかるように掲載すべき。

【事務局】表記については検討する。

【委員】標本についても現状の登録数や年間の登録数がわかるようにすべき。

【会長】収蔵基準はどうなっているのか。それがないと次の収蔵庫計画は作れない。来年度の計画の中で学芸員の理念が見える計画が必要。

【事務局】標本の購入は新潟県、糸魚川市に関係するもの、新鉱物、タイムリーな話題になる標本など優先順位をつけて購入している。

【委員】1月1日の地震、ミュージアムとしての被害はあったのか？

【事務局】展示物が動くことはあったが、大きな被害はなかった。運営に支障はない。学芸員で被害調査をおこない学会で多数報告をしている。津波は山縣先生と第四紀研究に報告した。他にも局所的な被害はあったので、博物館報告書に記録として残すのが良いと考えている。

#### (2) 協議事項

【事務局】令和6年度事業計画について資料に基づき説明。

#### 質疑

【委員】入館料が増加しているのは値上げが要因？

【事務局】大人の入館者数は昨年度と比べてほぼ横ばい。そのため売り上げは1.4倍になった。入館

料が上がったから博物館に来ないという方はいないように感じる。

【委員】値上げしてこなくなるのは近隣（糸魚川・上越）だけ。遠方は関係ない。行く価値があるかを調べてくる。広報も TV 雑誌だけの時代ではない。YouTube への発信も必要。

【会長】リニューアル後、入館者数が高止まりしている要因は？

【事務局】世界ジオパーク、新幹線、ヒスイの国石指定、細かい宣伝効果が相乗して8～9万人を維持しているのではないか。

【会長】マーケティングの必要がある。客層の行動パターンが変わっていることを意識しないとリニューアル時にどこをターゲットにするのかが変わってくる。

【委員】学校利用が増えていることが要因ではないか？当時の子ども入館料無料も大きかったと思う。糸魚川が大地の学習ができる場所であると周知できた。今後放っておくとそれが無くなる可能性はある。

【事務局】今後の対策については考えていく必要がある。今のところ例年来ている学校は変わりなく来館いただいている。

【会長】今年は去年から予定しているから来ているにすぎない。数年後、教育旅行利用が減少する可能性がある。

【委員】ルールの中で石拾いが許可されているところが魅力。一般的な石に関する感覚は「難しい」。拾った石に対してアフターケアがちゃんとあるのがいい。

【委員】ヒスイを拾える宣伝効果はある。今後はネフライトも同じように宝石であると宣伝してはどうか。

【事務局】観光協会主催の石拾いツアーでは満足度を高めるために、ヒスイだけでなくいろんな石が拾えるところに重きを置いている。ヒスイなしでも石に興味を持ってもらえる工夫をした。

【委員】博物館として科研費を申請できる組織になってほしい。大学との連携がしやすくなる。

#### 4 その他

【事務局】協議会委員の任期が令和6年度末。次年度について事務局としては引き続きお願いしたいと考えている。既に退任の申し出をされている方は後任の方の推薦もお願いしたい。

#### 5 閉会

以上